

ともべ幼稚園が一番大切にしている信念が「子ども第一主義」です。

新しくなにかを始めるときや、行事などを見直す時に、まず「子どもにとって何が一番大切か」ということについて考えます。すべての立脚点がこの「子ども第一主義」です。

あくまでも、「子ども第一主義」であって、「子ども唯一主義」ではありません。まず、一番に子どものことを考えますが、残念ながら社会情勢等がそれを許さない場合があります。例えば、保護者の都合であったり、われわれ職員の状況であったり、地域社会との兼ね合いであったりということです。

やみくもに「子どものためにこれがいいのだから！」と行ってそれをごり押しすることは、まわりの大人たちの許容範囲を超えた時に、かえって子どものためにならない結果を生むことがあります。

保護者に過度な負担を求めると、保護者は「子育ての楽しさ」を実感できなくなるかもしれません。職員に過度な負担を科すと、ともべ幼稚園で働くことのできる人の数が減り、量的質的にともべ幼稚園の教育力は低下していきます。

コンプライアンスも守らなければなりません。日本は法事国家でありますので、どんなに「子どものために」を思っても、法を破ることはできません。

ともべ幼稚園が与えられた環境の中で、さまざまな要素を考慮し、その中で「子どもにとって何が一番か」を考えていくのが「子ども第一主義」です。